

ハスの実がまゆ

社会福祉法人
ハスの実の家
2月号
2019年・No.460

〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2 TEL (0776)78-6743 FAX (0776)78-6744 Eメール honbu@hasunominoie.com



主な記事

- 2 ★すくらむ
- 3 ★なかまのページ 節分!! 豆まき大会!!
- 4~5 ★特集記事: 冬季職員研修会 法人チーフ研修報告
「やりたいことを仕事に! 仲間に仕事を
合わせてみたら」みぬま福祉会に学ぶ
- 6 ★今月のにやりホッと
- 7 ★職員のページ 杉村 裕嗣 五十嵐めぐみ

- 8 ★交差点 ★ハスの実の家よりお知らせ
- 9 ★わたしたちつながっています
- 10 ★ムーブ
- 11 ★物品深謝 ★ご寄付深謝
★新職員紹介 ★退職のお知らせ
- 12 ★おしらせ ★あとがき



あくらむ



ハスの実の家のバザーに初めて生徒とともに参加したのは今から10年ほど前のことです。何を手伝って良いかわからずおたおたしていた私に職員の方が語りかけてくれた言葉が今でも忘れられません。

「こうして高校生が参加してくれるだけで嬉しんですよ。なかまも同じ社会に暮らしていることをこうして若い人に感じてもらうことができますから。」

この言葉で、「何をしたらよいのだろうか?」「何か頑張らなければ」と力んでいた私の肩はすっと軽くなりました。この場に来て一緒にいるだけでいいんだと思うことができたからです。その後、きょうされん福井大会での企画にも関わらせていただき、毎年行事での交流を重ね、今日までの関係が続いていることが私達にとって本当に大切なつながりになっています。

さて学校のクラスにも様々な個性を持つ生徒や課題を抱えた生徒がいます。勉強やスポーツが得意な子、逆に勉強やスポーツが苦手な子。明るい性格の子や、無口な性格の子、学校生活になかなか馴染めない子、色んな生徒がいますが、どの子も大切な生徒です。こうした生徒達が互いに支え合って学校生活をおくってほしいと願っています。格差が拡大し、グローバル競争

力が求められ、「自己責任」の風潮が蔓延する社会においては自然に支え合うことが容易なことではないように感じられます。これまで生徒達とともにハスの実の家の行

優しい社会

仁愛女子高等学校教諭 奥出雅文

事に参加し、なかまとの交流会に参加・企画してきたのは、「社会はともに支え合わなければ生きていけない社会である」ということを言葉ではなく、実体験として学ん

でほしかったからなのです。

今年きょうされん京都大会に参加した生徒が、「世の中には障害を持つひとはたくさんいるのに、それに理解を持っていないひとも多くいる。理解を深める人はいるのに、新しく理解を示す人がいない、という印象でした。私はこれからは理解を深めるだけでなく、理解をしてくれる人を増やす活動に力を入れていきたいなと思います。そして、活動に参加するだけでなく、参加する場を提供できる側になれるといいなと思います。」と感想に書いてくれました。この生徒はすっかり自分の体験から、優しさを社会に広げるといふ志を持つようになつてくれました。教員と生徒でも、職場内の職員同士であっても、困っている人がいたら「どうしたの?」と手を差し伸べてクラスや職場を育てていくことが、きっと優しい社会をつくっていくのだろうと胸に刻みこんでこれからも生徒や皆さんとの活動を続けていきたいと思っています。



ながまみ
カード

節分!! 豆まき大会!!



豆まきすたーと!!

おんほーん!!
ふくほーん!!





冬季職員研修会 法人チーフ研修報告

「やりたいことを仕事に! 仲間に 仕事を合わせてみたら」 みぬま福祉社会に学ぶ



みぬま福祉社会とは

みぬま福祉社会は、1984年に浦和養護学校(当時)の卒業生を中心とした進路保障の取り組みから始まりました。障害が重いことを理由に5人の仲間が在宅になってしまうかもしれないという状況の中で、「1人ぼっちにしない」「学校でつけた力をのばしたい」というあたりまえの願いに応える取り組みが、浦和市から川口市、大宮市に広がり、多くの人たちの力を合わせてみぬま福祉社会が発足しました。

当時、「在宅になるのも進路の一つ」と言われていた状況の中で、「誰一人不本意な在宅にしない」という方針をもち、「どんな障害があっても希望すればいつでも入れる施設を作る。」ことを理念にして活動を続けてきました。…労働は、当初から権利と考へて取り組まれてきましたが、下請け、ウエス作り、お菓子作り、表現活動などに広がっています。その根底には「仕事に仲間を合わせるのではなく、仲間を含めた仕事をする」ことを大切にしています。(みぬま福祉社会ホームページより)



重い身体障害のあるメンバーが、紙粘土を握る
「問いかけるアート」工房集の挑戦 より)

表現活動は、1994年頃、既存の仕事に合わなかった一人のメンバーをきっかけに、障害の重い人たちの仕事づくりを模索し続けたことから始まりました。

現在は、法人全体で11のアトリエを中心に150名程が仕事としてさまざまな表現を生み出し、国内外での展示会への出展や、企業との協働など、活動が多岐に渡っています。

また、その表現方法は絵画、織り、ステンドグラス、木工、写真、書、詩、漫画、紙粘土…そのどれにもあてはまらない独自の作品まで多種多様です。

もともと美術が得意な人を集めたものではありません。好きなこと、得意なこと、その人にしかできないことを引き出す日々の支援の延長上に生み出された多くの表現が、本人だけでなく、メンバー、職員、家族などの周りの人の意識を変え、固定観念を覆しています。(工房集ホームページより)

みぬま福祉社会の施設を見学し、仲間たちがいきいきと仕事をしている様子や、楽しそうにグループホームへ帰宅する様子を伺うことができてました。中でも表現活動の中心となる工房集での作品はとても素晴らしいもので、仲間たちの独自性を引き出し、それぞれ個性的な作品に仕上がっていました。また、一人ひとりの作品集が作成されており、有名ブランドとのコラボや、企業から漫画の発注、海外での個展など、職員の方が仲間をアーティストとしてうまくプロデュースしていました。私からはとても考えつかないことでした。

いきちゅう班チーフ 富澤小百合

ハスの実に戻ってやってみたいと思ったことは、暮らしの場におけるなかまの会を作ることです。暮らしの主人公は一人ひとりの仲間、その権利がしっかり守られるような実践が、なかまの会を通して、職員、仲間が共に成長していける機会になればいいなと思います。

ステップハウスホームチーフ
阿部 晃三



工房集

その根底にあるのは、
1人ひとりが主体的に生きていること。
豊かに生きていること。
楽しく暮らしていること。
人間らしく、生き生きしていること。
そのことを、大切にしていること。
(工房集ホームページより)

描き続けていくエネルギー、固めていくエネルギー、破る、ちぎるエネルギー、引っ張るエネルギー、きらきら光るものを集めるエネルギー、水をちゅちゅするエネルギー、テープをピーッと引っ張ってくっつけるエネルギー。こういう自己表現を形にすること、仲間達が全力で意味を持って取り組んでいること、自分が主体となってやっていること…こういうことが仲間が自分の生きたい人生を生きていくことにもつながっていくのだと思います。

はつらつ班チーフ 菅原亜希子

工房集では、各々が自分の好きな事を行っているように見えたが、私達に職員が一人一人作品、仲間を紹介するなかで、スポットライトがあたり自分の作品に「どうだ」という自信があふれていた。それはみぬま福祉社会という「仕事に仲間を合わせるのではなく、仲間にしごとを合わせる事」が実践できているから、無理に仕事をさせるのではなく、その人の得意な事、表情が変わるときを見逃さず実践に結び付けてきたからこそと思えた。みぬま福祉社会は障害が重いから就労系ではなく生活介護事業だけなんですと話されていたのも、その背景があつたのかなのか。パン工房チーフ 青木なおみ

暮らしの場は、どのホームも清掃が徹底されており、暮らしやすさを帰国した仲間の表情から感じとることが出来ました。入所施設では、その建物ごとに、玄関から居室の扉に至るまで、オリジナリティーさをもった造りとなっており、施設の方の説明の中で「どこに住んでいるの?」と尋ねられた時に「施設に入っている」というのではなく、「ここで暮らしている」と答えられるそんな暮らしの場となつてほしいとおっしゃっていたのが印象に残りました。のぞみホームチーフ 西井 里美

理念を現実のものとするために、実際に実践して積み上げているのがすごいと思いました。「仲間へ寄り添う」「一人ひとりの可能性を信じ、待つ。見つける」「社会に向けて発信する」「地域とつながる」「当たり前前の暮らし」。地理的条件や地域性などで同じようにはできないにしろ、そこにはハスの実が今まで歩んできた道の根っこというか、同じ理念のもと進んで行ったと感じます。それは自分達の実践を行う際の理念に確信をもたらしてくれるものでした。あかつきホームチーフ 上坂 均

今回、みぬま福祉社会に行かせていただき、関心したことが多く、参考にさせていただくところも多々あり、日々の実践に活かしていきたいと思ひます。

まちなかホームチーフ 八木 穂衣

法人チーフ研修 みぬま福祉社会見学を振り返って

昨年12月11日～12日、ハスの実の家、法人チーフ研修が行われ、埼玉県みぬま福祉社会見学に12名のチーフ職員が参加しました。1月12日の冬季職員研修会ではその研修報告がありました。



アトリエ

今回の見学でみぬま福祉社会の規模の大きさに圧倒されました。またゆったりとした空気が流れているのを感じ仲間が落ち着いて暮らしているのが素敵だなと思いました。働く面では生活介護だからかも知れませんが仲間それぞれが自分のペースで仕事をしている。自分の仕事を大切にしている。とてもうらやましく思いました。食品加工班チーフ 丸山 知枝

一日目に行った工房集に「すごい」と思いました。仲間一人ひとりの持つ豊かな感性を見抜く職員の方々の粘り強さやパワーを感じ、アート活動を通じて社会に向かって発信し、地域とつながっていく勢いや仲間がいきいきと自由に作品に取り組んでいる姿が印象に残っています。二日目に重度の人たちの入所施設、太陽の里と大地を見学した時に、障害が重くてもその人らしい暮らしができていいるなあと感じました。例えば土曜の夜は晩酌ができるなど(それが普通なんですけど)、施設だからとか健康管理をしなくてとは勝手にガチガチに制限しているイメージとかけ離れた自由さを感じました。あおぞらホームチーフ 荒野佐都美

《工房集》こちらで作品を作り上げている仲間一人一人の紹介をしていただき、その一人一人がただただすごい一言だった。大手ブランドとコラボしていたり、海外で個展を開いていたりとプロの芸術家ばかりのいる工房だった。工房集ができるきっかけとなった仲間の紹介もしていただき、何もできないと思っていたその仲間と仲良くなる事から始め、そこでの支援からヒントを得てここまでの規模になったと聞き、丁寧な支援、仲間のことをもっと知りたいと思うことで仲間の魅力を引き出し、さらには周りの仲間につなげていけるのだと思った。他の仲間のように作品で評価されたいと目標を持った仲間もいて、集団のちからはすごいと感心した。

のびきら班チーフ 荒谷あゆみ

今月のにやりホット

「おーちゃんの手」

西部地区民生委員児童委員協議会

障害者部会 岩本悦信

ハスの実の皆様、ご苦勞様でした。昨日は、盛大で楽しく素晴らしい海風フェスタになりましたことをお慶び申し上げます。

私は、焼きそば担当でしたが、他の委員の都合により仲間のサポートに変更になりました。正直に言えば、障害者と接することは、小学校以来でした。ステージでも奇声や様々な行動が気になりました。私の担当はおーちゃん46歳男性です。サポートシートを読み、ダウン症、副鼻腔炎、水虫まで読んでわかりました。共通の担当者が教えてくれました。「最近おーちゃんは、センターに來なくなったのがやつと、出てくるようになった。たぶん、バスの中で何かあったのだろう」と言われていました。また「あまり、しゃべらないよ」とも聞きました。おーちゃん、始めは、横目で私をチラッと見るだけで顔をふせます。おーちゃんを見ていて思いを馳せました。本来なら、仕事もバリバリの年頃で、妻や家族を持ち、子供も成人するくらいがいても不思議ではなく、趣味を楽しむ年齢だろう。おーちゃんに何の罪もないのに、今まで、いろんな苦勞してきたのだろうと。二人でお茶をし、食べ歩き、散歩して、おーちゃんのペースで石に腰掛けたりしていました。室内のステージをまた見にもどると、少し私に変化がありました。奇声やさざまな行動が、「あ、おーケストラみたいだ。個性を表現して、すごいのびのびしている」のように見えてきました。おーちゃん

から最初に言葉を聞いたのは、「はな」と聞こえました。それは鼻水が出たということ。 「あ、副鼻腔炎やな。」わたしの持つていたテッシュで鼻をかませ、それを手で受け取り捨ててきました。

気づいたのはおーちゃんの手は、あまりに冷たく、しばらく手を握っていました。それから、少しずつ片言ずつ話してきました。「べんじょ」と言い、便所に行きました。しばらくして、座っている人をよけながら、また私の所に戻ってきてくれたのが、うれしくなりました。神輿を見に行きたいと私を呼び神輿を持つことを言葉ではなく、私に感じさせました。神輿をじまんしているようでした。私たちは店をはしごするようになり食べ歩き、おにぎり、おにぎり、焼きそば、蕎麦、焼き鳥、ケーキ、お茶、ジュース、朝ご飯たべてきていけないのだろうか？しかし、シートには、セーブできず吐いてしまうまで食べると書いてありました。たこ焼きのチケツトあるけど、後にしようと話しました。理解したようです。ですが、しばらくすると、「たこやきすき」と私に言いました。「え、食べたいの？」と聞くと、頷きました。話してくれたのがうれしくて買いに行き、ステージ会場に戻りました。たこ焼きをおーちゃんは2個たべました。そこで「うえ、うえ」と言い始めたので、残りのたこ焼きは、後で食べようとかたづけました。なるほどサポートシートはこうゆう事かと納得しました。ステージでは、高齢の仲間の女性たちが、真剣に歌っています。他の女性も泣きながら歌っているというより訴えています。小さい時、親から引き離されてきて、悲しかったとか、おかずを作る人になりたかったとか、普通の当

たり前の事が彼女たちの夢でした。それに比べ我々の悩みのなんと小さいことか、それは悩みではなく欲深さです。悩みのある人を連れてきたいと思いました。私は、聞いていて涙が出ました。もし冗談が分かってくれるなら、「マイナスも二つあればプラスだよ、がんばれ、おーちゃん」っておーちゃんに元気づけたいと心で思いました。時間のたつのが早く、もうお別れの時間になりました。最後に、おーちゃんに贈り物を探しました。気になっていたので、おーちゃんの手は、冷たく手袋を買ったのですが、探してもありませんでした。しかたないので、出合いの記念に、ピースのプレスレットをプレゼントし、握手しました。すると、手を放してくれませんでした。嬉しくなりました。触れ合うことができたなど感激しました。また、会いたいと思えました。素晴らしい経験が出来ました。

私は、今回、ボランティアに行ったはずが、良い体験をし、仲間たちに教えられました。このような素晴らしい経験を、させてくれて感謝しました。障害を持つ仲間たちとのふれあい、それが福祉の一步だと感じ、一人でも多くの委員の方々に経験してもらいたいと感じました。そして、共に協力参加した民生委員の20人の先輩方、また、職員の皆様と共に活動でき感謝しています。有難うございました。ご苦勞様でした。



おーちゃん

職員のページ

【所属】生活介護事業 はつらつ広場
生活支援員

杉村 裕嗣



『仕事として』

ハスの実の家に入职してから1年と数ヶ月が経ちました。入职当初は初めて経験する仕事で人と接することが苦手な僕は仲間達や職員と上手く関わっていきけるかとても不安でした。しかし、仲間達は怖がらずにどんどん僕に話しかけてくれて、僕も答えていくうちには自然と話すことに慣れていき、僕からも話しかけられるようになりました。職員の方々も優しく教えていただき、時には重要なことはあえて厳しく教えてくださっているおかげで大分成長出来てきたかなと思います。仲間達や職員と関わる中で人それぞれの中身が少しずつ見えてきて、相手が求めていることもだんだん分かるようになってきました。求めていることへ僕が返してあげられる楽しさを感じることも増えてきました。まだまだ支えてもらうことの方が多いですが、僕もみんなを支えてあげられる機会が増えていくようにこれからも日々の関わりを大切にしていきたいと思っています。

【所属】生活介護事業 のびのび広場
生活支援員

五十嵐めぐみ



仲間と共に

2年前、ご縁があり、ハスの実の家に入职しました。支援員としての仕事は、私にとって初めての仕事です。最初、分からない事ばかりで戸惑いながら、これでいいのかと先輩方に教えて頂き、支えられながら、今までやって来る事ができました。

日々の仕事では、仲間から教えてもらう事も沢山あり、助けて頂いています。それと仲間の笑顔や、愛情表現？なんかも私の働く原動力となっています。個人的にハスの実の歌が、数え切れないくらい沢山あり、感動しました。みんなと歌ったりするのが好きですし、良い歌が沢山あり、それを聞いていても励みになります。これからも、仲間と共に成長していきたいです。



交差点 後援会

フラワーアレンジメント教室を開催

12月15日(土)、あわら市のセントピアあわらにおいてフラワーアレンジメント教室を開催しました。会員や仲間がクリスマスやお正月に向けて、思い思いの飾りつけを楽しみました。温泉に訪れた人もきれいな花々を楽しんでいただけたと思います。

花と言えば、福井県の花、水仙。見頃からは少し遅いかもしれませんが、越前岬周辺の越前海岸に今まさに咲いています。越前海岸は日本最大の水仙の群生地となっており、日本海のきびしい風雪に耐えぬいて寒中に咲く忍耐強さは県民性に通ずるといわれています。



後援会 総会のご案内

日時：4月14日(日)13時30分～
場所：ハスの実わくわくセンター

● 会員の皆様のご参加をお待ちしております。
● 久しぶりの方も気楽にご参加ください。

ハスの実☆発信!! ハスの実の家よりお知らせ

第4回 アール・フリュット展ふくい

今年度のアートクラブ活動では“my Tシャツ作り”をしています。一枚一枚個性あふれるTシャツが出来上がり、26枚のTシャツを出展しました！細川ひと恵さんの作品が【坂井市長賞】を頂きました！！



坂井市長賞

作品名 「夢」
作者名 細川 ひと恵

審査委員からの講評

“かわいらしさと大胆さを兼ねた作品ですね”



わたしたち資源回収でつながってます

今回は、あわら北潟温泉 湖畔荘 hanaゆらり
アシスタントマネージャー 演出 信也さんにお話しをお聞きしました。

1 出会はいつですか？

hanaゆらりが年金保養センター時代からお食事・ご宿泊などに利用して頂いておりました。弊社の社員の家族の方がハスの実の家にお勤めされていたのがきっかけで回収をお願いしました。

2 印象に残っている出来事は？

仲間の方が回収時に「こんにちは」と元気な声で挨拶され、一生懸命作業に取り組んでおられる姿が印象的です。

3 最近気になっている事など。

あわら夢ぐるま(あわら北潟風力発電所)が昨年、秋故障し、原因不明で稼働していません。県外からのお客さまから「風が吹いているのに何故動いていないの？」と聞かれます。夢ぐるまを見に来られるお客さまもいらっしやるので早く稼働して欲しいと思います。

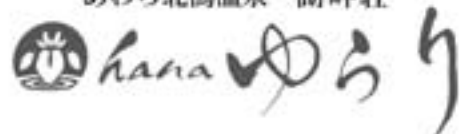


担当者(吉澤)の一言

お手軽ご昼食プランが¥1500-(税別)・¥2000-(税別)でお風呂付。お料理も美味しそう!!このお値段でお得です。みんな誘っていきませぬ。

お問い合わせ先

あわら北潟温泉 湖畔荘



〒910-4272 福井県あわら市北潟211
Tel 0776-79-1124 Fax 0776-79-1040
E-mail:sales@hanayurari.com

お昼のコース

ご前泊プラン

hanaの宴

hana no utage

お風呂付

前菜 刺身盛り合わせ	主膳 白子と鯛刺し
湯 湯	飯 炊き込み(お好み)
名物 かつおの唐揚げ	漬物 季節の漬物
名物 かつおの唐揚げ	デザート 和菓子
名物 かつおの唐揚げ	名物 季節のフルーツ
名物 かつおの唐揚げ	
名物 かつおの唐揚げ	
名物 かつおの唐揚げ	

継続会員・新入会員お名前

12・1月度

*印は新入会員です。順不同、敬称略。

あわら市 坪田和江・亀田真利子・岩城弘恵・児玉富久子・出崎勝・横内弥生・中村恵子・伊藤啓二・多幡順子・土橋紀代子・中谷ふみ子
坂井市 吉川悦子・前田かおる・前田徹・内田悠美子・内田祐己子・栗山穂美・西澤朋子・森瀬敏満・十佐近さおり・服部季子・田中千賀子・徳田直美・塚谷晴美・出蔵早苗・滝口裕子・*林祐賢・倉谷政行
福井市 中川邦宏・山川幸三・岸水寿美江・塚谷晶子・片矢春美・西村明宏・三上ミチコ・下田洋代・伊藤美代子・市川節子・松田直樹・藤木裕美・木戸幸枝・平野治和・平野純菜園・笈田敏文・吉田美弥子・合同設備株式会社・清水真由美・倉本裕妃
越前市 伊藤敬一

鯖江市 天谷由紀子・木村麗子・宇野功・谷口昌清
大野市 表茂美・三橋静枝
敦賀市 木崎精二
京都府 滝正尊
滋賀県 丸橋二三子
愛知県 鈴木峯保
大阪府 *吉村優
東京都 林光二

きょうされん近畿・北陸ブロックに参加して



12月9日・10日に、きょうされん近畿・北陸ブロック会議に、参加させていただきました。会議の内容としては、水増し問題・65歳問題などの情勢報告や、各支部の取り組み状況の交流を行いました。

今回出された「65歳問題については、65歳になるまでに、'就労事業'から'生活介護事業'へ移行しなければならない。65歳に達してしまったり、'生活介護'の支給はしないとの内容」でした。この内容の中には、本人の意思決定や願いなど大事なことが抜けていることが多く見られます。ハスの実の家の仲間でも、もうすぐ65歳を迎える方がいますが、就労でがんばって仕事しています。

この制度は、県や市町村で多少の違いはありますが、全国で、起こっている問題の1つです。制度に左右されるのではなく、仲間の意思決定・願いを近くにいる私たちが、第一に考えています。

また、その制度に対しどう向き合うのか…賛助会員で応援団を増やし、おかしいことは、'おかしい'と一緒に言える人づくり、地域づくりがとても重要になります。

新規会員を、増やす取り組みとして、ハスの実の家の職員に、「ハスの実のことや仲間のことを話して1人でも2人でも多くの会員さんに私たちの応援団になってもらおう!」と呼びかけています。

H30年度は、3月末までには、300名の応援団を増やしたいと思っています。

今回の会議を行った滋賀県の取り組みでは、電話がけで更新・新規拡大活動など、様々な取り組みが報告されました。私たちができることをその方法を参考に、取り組んでいきます。

ご協力をよろしくお願い致します。



厳しい情勢の中、仲間たちの思いや願いの実現のために今、私たちにできることは、賛助会員（応援団）を増やすことだと再確認した会議でした。

参加させていただきました。

組織・地域づくり委員会 八木 秘衣



きょうされん自動販売機の 設置場所をご紹介ください!



きょうされんは、アサヒ飲料株式会社と提携し「きょうされん自動販売機」の設置事業を展開しています。この事業では、自動販売機の商品を買っていただくたびに、売上の一部が設置事業所（ハスの実の家）ときょうされんに還元される仕組みになっています。

ハスの実の家ではこれまでに3台の設置実績があり、なごみ前とパン工房前に1台ずつと、もう1台はご家族からのご紹介で、地域の中に設置させていただいています。いずれの自動販売機も順調な売り上げを続けており、研修などの貴重な財源として役立てています。

今後もこのきょうされん自動販売機の設置をひろげ、障害のある人たちを支援するための安定した収入を確保することを目指しています。ハスの実の会（後援会）会員の皆様や関係者のお宅、駐車場、店舗など、自販機設置の拡大にご協力をお願い致します。

組織・地域づくり委員会 西井

物品深謝

18-12・19-1月 順不同お許しください

エンゼル調剤薬局様、リビングいづみ様、仁愛大学様、
江指博幸様、佐々本範子様、中道院様、
仁愛女子短期大学様、斉藤緑様、株式会社スマダ様、
鶴さかえ様

ご寄付深謝

18-12・19-1月 順不同お許しください

ハスの実の家
大関東区壮年会様、大野桂子様、伊藤順治様、中
道院様、藤田久男様
51,979円
ハスの実の会(後援会)
塚谷晶子様、江口昇様、表茂美様、松田直樹様、
長谷川まゆみ様
10,000円

新職員紹介

世話人 森本恭枝
世話人 福田香奈
世話人 平野みゆき
世話人 早野 梓
世話人 平野夢加

退職のお知らせ

総務部 斉藤直美



牛乳パックのリサイクルに ご協力をお願い致します!

わくわくセンターでは、現在紙すきの材料となる牛乳パックが不足しています。仲間の仕事を豊かにするためにも、ご家庭の牛乳パックをお寄せ下さい。

●担当：わくわくセンター 荒谷
0776-78-7750



~ハスの実だより 10月号を読んで~

ハスの実だより、いつも興味深く拝読
しています。審査員特別賞受賞おめで
とうございます。これからも楽しく意義あ
る記事を持っています。

塚谷 晶子

ご感想をいただきました。ありがとうございます。
皆さまもぜひご感想・ご意見お寄せ下さい。
おまちしております。

お願い

ご家庭に眠っている不要となった
フォークギター・ドラムセットがあ
りましたら、わたしたちのコンサ
ート活動にお譲りください。

●お問い合わせ
0776-78-6743 法人本部まで

新商品

ぐるぐる焼ドーナツ◎ ¥180-



おいしくな一れ♥ぐるぐる。
きれいなうすまきぐるぐる。

ハスの実菓子工房です。
大人気の焼きドーナツがマーブルになって新
登場!!
おいしくな一れ♥きれいな渦まきにな一れ♥
愛情込めて製造しています。コーヒーと一緒に
いかがでしょうか?

ハスの実だより
あとがき



暦の上では立春ですが、まだまだ寒い日が続いています。昨年の今頃、福井では37年ぶりの豪雪で大変な思いをされた方が多かったのではないのでしょうか。ハスの実の職員さんも何時間もかけて歩いて出勤された方や仲間たちも交通困難の状態、通えなかったこと、天災とはいえ決して忘れてはならない。今年はありがたいことに雪はちらつく程度ですが、油断はできません。インフルエンザも大流行ですので、お身体には気をつけてお過ごしくださいね。春よ～早く来い～♪

河野 美枝子

社会福祉法人
ハスの実の家

- 法人本部 理事長 櫻井 康宏
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
Eメール: honbu@hasunominoie.com
- ハスの実の会(後援会)事務局(法人本部内)
Eメール: kouenkai@hasunominoie.com
- 共同生活援助事業
 - *「のぞみ」「あおぞら」「あかつき」「ステップハウス」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
Eメール: allhasunomi@hasunominoie.com
 - *「ハッピー」
〒910-4134 福井県あわら市上番 40-12-4
電話・FAX (0776)77-7282
 - *「すまいる」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-2
電話・FAX (0776)73-2444
 - *「空と海」
〒913-0057 福井県坂井市三国町米ヶ藪1丁目 4-3
電話・FAX (0776)81-4746
 - *「友歌里」
〒919-0628 福井県あわら市大溝 3丁目 15-17 102
電話・FAX (0776)73-3129
 - *「はさだ」
〒919-0621 福井県あわら市市姫3丁目 14-1
電話 (0776)73-5203
- 生活介護事業
 - *「のびのび広場」「はつらつ広場」
- 就労継続支援B型事業
 - *「わくわくワーク」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-19
電話(0776)78-7750 FAX(0776)78-7751
Eメール: wakuwaku@hasunominoie.com
 - *「ハスの実パン工房」
〒919-0621 福井県あわら市市姫1丁目 608-2
電話(0776)73-7300 FAX(0776)73-7301
Eメール: pankoubou@hasunominoie.com
- 相談支援事業所「ハスの実」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744
携帯 090-8965-2347
Eメール: hasusoudan@hasunominoie.com
- 居宅介護事業
 - *「ハスの実ヘルパーステーション ともに」
〒910-4103 福井県あわら市二面 87-26-2
電話(0776)78-6743 FAX(0776)78-6744

スタッフ急募!

障害のある仲間たちへの
支援をするお仕事です。

◇「ヘルパーステーション ともに」(あわら市二面)

募集人数 ホームヘルパー 3名(パート)
障害のある方や高齢者の在宅での様々な支援サービスです。
◆7:00~21:00の週で相談 短時間でも可
時給 1,000円 その他 土日勤務手当 通勤手当
資格 ①ホームヘルパー2級以上

◇生活支援スタッフ

あわら市上番・大溝 三国町米ヶ藪
募集人数 3名
グループホームでの生活支援をするお仕事です。
(食事準備、入浴・就寝支援、余暇支援ほか)
◆16:00~9:00(夜直支援)週2日程度
1勤務 12,000円以上 他通勤手当
資格 ホームヘルパー2級あればなお良し

◇法人本部スタッフ(あわら市二面)

募集人数 ①事務員(正規職員) 1名
◆8:45~17:30(休憩45分)
休日は施設カレンダーによる
①基本給 167,600円~ 経験優遇・手当含む
34歳以下(長期勤務によるキャリア形成のため)

◇学生アルバイト(18歳以上)

⇒福祉・保育・医療等を学ぶ学生さん優遇
日中支援 生活支援 夜間支援 外出支援
時給 1,000円~(勤務時間柔軟に対応します)

平成31年度 新規学卒者職員募集(正規職員) (高校、短大、専門学校、大学)

◇生活支援員(グループホーム生活支援 日中活動支援等) 若干名



TEL 0776-78-6743(担当:具谷、橋本)
社会福祉法人 ハスの実の家
〒910-4103 あわら市二面87号26番2
E-mail: honbu@hasunominoie.com

お知らせ

今号では、ハスの実だよりに関するアンケートを同封させて頂きました。多くの皆さまに読んで頂くために、皆さまがどのような記事に興味をもたれるのか、どのようなことをお知りになりたいかなどをうかがわせて頂きたいと思っております。大変お手数ですが、記入の上、同封の封筒に入れて、ポストに投函して下さい。(切手は不要です)どうかご協力をお願い致します。
(広報委員会)